

海のデータ連携シンポジウムの開催について

日時：2022年2月18日（金）14:00～16:30

形式：参加費無料オンライン形式

（事前登録者へのYouTube配信：登録方法については次頁に記載）

開催趣旨：内閣府では、政府関係機関などが保有する海洋に関するデータの利活用を促進する「海のデータ連携」を進めており、データ連携のハブとなる「海洋状況表示システム（海しる）」のAPIを公開しています。今回、海洋関連の産業等における海しるとのデータ連携の事例等について紹介し、海洋分野におけるデータ連携を推進し、海洋の成長産業化につなげるため海のデータ連携シンポジウムを開催します。

－ プログラム（敬称略） －

1. 開会

内閣府総合海洋政策推進事務局長 平岡 成哲

2. 海のデータ連携について

海上保安庁 海洋情報部 海洋空間情報室長 吉田 剛
東京大学 大気海洋研究所 国際連携研究センター長 教授 道田 豊
大学共同利用機関法人 情報・システム研究機構 国立極地研究所 特任研究員 照井 健志

3. データ連携の事例

1. 「無人運航船プロジェクトにおける海上保安庁データの活用例」
株式会社日本海洋科学 運航技術グループ グループ長 桑原 悟
2. 「新たな養殖漁場開発のための海洋データ利用について」
日鉄エンジニアリング株式会社 ソリューション共創センター
養殖システムビジネス部 企画営業室長 山内 康司
3. 「洋上風力発電の円滑な導入に向けた環境省の取組」
環境省 大臣官房 環境影響評価課 課長補佐 會田 義明
4. 「海しるデータを用いた洋上風力発電に係るゾーニング調査－実績と課題－」
アジア航測株式会社 環境部 総合環境課 主任技師 壺岐 信二
5. 「長崎・対馬地域における海のデータ活用と、海しると連携したメタバースへの取り組み」
株式会社コミュニティメディア 代表取締役 米田 利己

4. 総括

東京大学 大気海洋研究所 国際連携研究センター長 教授 道田 豊

参加登録について：参加をご希望される方は、以下リンク先の参加申込フォームから
2月17日（木）12時（正午）までにご登録をお願いします。

参加申込フォーム <https://forms.gle/Rnu3azgfc4Cz1y2f8>

本シンポジウムの運営を委託している（一社）海洋産業研究・振興協会より、シンポジウム参加用URLを開催当日までに申込フォームにご登録いただいたメールアドレスに送らせていただきます。